

《Lesson 1》 助動詞 can 肯定文

助動詞とは動詞だけでは表すことができない「可能」や「必然」を表す単語です。例えば、今回学びます can は、go (行く) という単語につけることで、「行くことができる(可能)」「行ってもよい(許可)」という意味を足すことができます(意味の使い分けは文脈によって判断します)。助動詞は「一般動詞の文」と「be 動詞の文」の両方につけることができるのですが、今回は比較的簡単な一般動詞の文につく形だけを学んでいきます。

【助動詞 can の肯定文 (一般動詞編) : 基本の形&作り方】

助動詞の can の使い方は簡単。なぜなら、一般動詞の文を作り、一般動詞の前に can を足せば完成だからです。ただし、can の後は、主語に関係なく「動詞の原形(辞書で調べる形)」が使われるため、主語が he/she/it の時は、動詞の s/es を取る必要があります。

【助動詞 can (一般動詞編) 肯定文 : 基本の形】

主語 + can + 一般動詞の原形 + ~.

(「主語」は「一般動詞」することができます 【可能】)

(「主語」は「一般動詞」してもいいです 【許可】)

<例> They can read Japanese. (彼らは日本語が読めます) 【可能】

She can come here. (彼女はここに来てもいいです) 【許可】

【作り方】

(1) 一般動詞の肯定文を作る。

(2) can を一般動詞の前に足す。

(主語が he / she / it の場合は、一般動詞についている s / es を取る)

<例 1> 「彼らは日本語が読めます」という文を作る場合。

(1) 一般動詞の肯定文を作る。 「彼らは日本語を読みます」

They read Japanese.

(2) can を一般動詞の前に足す。

They can read Japanese.

<例 2> 「彼女はここに来てもいいです」という文を作る場合。

(1) 一般動詞の肯定文を作る。 「彼女はここに来ます」

She comes here.

(2) can を一般動詞の前に足す。

(主語が he / she / it の場合は、一般動詞についている s/es を取る)

She can come here.

ポイント！ 文脈で「～できる」「～してもいい」のどちらの意味で使われているか判断する

can は、主に「～できる」「～してもいい」という意味で使われるのですが、基本的に文の形は同じとなります。そのため、意味の使い分けは文脈で判断することになります。

(1) She has a car, so **she can come to the party.**

(彼女は車を持っているので、彼女はパーティーに**来られます**) 【可能】

(2) I know her, so **she can come to the party.**

(私は彼女を知っているため、彼女はパーティーに**来てもいいです**) 【許可】

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。